



ロングインタビュー
マルハン東日本カンパニー
ブランド戦略部
西真二郎 部長

遊技産業のパーパス制定にあたって、専門家として関わったマルハン東日本カンパニーブランド戦略部の西真二郎部長。遊技業界の変革をライフワークと位置づける西部長がパーパスの先に描いているのは、業界の「生態系」の変革。そのための第一歩が若年層ユーザーをターゲットとしたブランドコンセプト店舗だ。(文中敬称略)

聞き手 野崎太祐(本誌)

部を作っていたとき、いまのブランド戦略部になっっています。

——マルハン東日本カンパニーにもパーパスはありますか？

西 はい。あります。2022年に社員全員が関わってつくりはじめて、2023年4月に発表しました。「人とつながりの力で、人生100年時代に生きるヨロコビを創造する」。これが東日本カンパニーのパーパスです。

——マルハン東日本カンパニーでは、服装や髪の色など身だしなみも自由になったそうですが、それはパーパスと関係がありますか？

西 パーパスとは自分たちの存在意義なんです。いまの業界の課題は「若年層」。若年層に受け入れられる業界にならないと、業界に未来はありません。既存顧客をターゲットにし続けて続いている業界はどこにもないからです。だからリブランディングやターゲットシフトは絶対にやっていたいかなくはない。そこで、パーパスを作ったのを機に、身だしなみの基準も変えていただきました。当社が率先して、若い人たちが受け入れられる業界に変えていきたいと思います。

——社内ではどのように受け止められましたか？

西 めちゃめちゃ好評でした。おかげでアルバイトの採用がしやすくなり、一旦離職したアルバイトスタッフがマルハンに戻って来てくれたりしています。

——マルハンには「人生にヨロコビを」というキャッチフレーズがありますが、これはどういう位置づけですか？

西 経営理念です。社業を通じて人々に生きる喜びを提供するんだという経営者側の思いですね。一方で、それは世の中の人が本当に求めていますかという問いかけがパーパスです。パーパスは、言葉そのものより背景の方が重要です。だから言葉の定義は実はそれほど重要ではなく、みんながパーパスに共感できるかどうかが重要なんです。

——6月に発表された遊技産業のパーパス「遊びの力で、心を元気に」ですが、どんな経緯で関わったのですか？

西 今年の2月にアミューズメントジャパンさんの記事で、全日遊連の千原喜副理事長が業内にパーパスをという思いを述べられて

「業界の生態系にイノベーションを」

——はじめに西さんの経歴を教えてください。
西 22歳のときにマルハンに中途採用で入社して今年で26年目。いま47歳です。ホールの現場で玉箱の上げ下げから始めて、エリア長までやらせていただきました。

——現在はブランド戦略部の部長を務めています。どういう経緯がありましたか？

西 エリア長の時代に新入社員と話す機会があり、彼ら彼女らにきちんとバトンを渡さなくてはいけないという志が生まれたのが、いまに至るきっかけでした。ただ、志が生まれても能力がなかったんで、マルハンで働きながらグロービス経営大学院に3年間通い、経営全般について学んでMBAを取得しました。マルハン東日本カンパニーでは副業が認められているので、現在は自分が得意とする企業のブランディングの分野で、社外で講師を務めたり、他の企業のブランディングのお手伝いをさせていただいたりもしています。

——社内でブランディングの仕事をしたという手を挙げたのですか？

西 そうです。元々パチンコ業界にはブランディングやマーケティングという概念がありませんでした。それがなくてもビジネスが成り立ってきたので、マルハンにも専門の部署はありませんでした。私はこの業界はイノベーションを起こさなくてはいけない、構造改革をしなくては業界に未来はないとずっと伝えていました。マルハンが4カンパニー制になったときに東日本カンパニーでマーケティング

いたのを拝見して、当社の韓裕社長にお願いして千原副理事長につないでいただきました。そして「当社は2年前からパーパスを勉強して実際に掲げています。ご協力できることがあれば協力させていただきます」とお伝えさせていただいたところ、千原副理事長からぜひやってほしいと言っていました。

——その後はどんな経緯でしたか？

西 業界8団体(全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、余暇進、MIRA I)の代表の方々が集まる会議に呼んでいただき、そこで皆さんにパーパスについて話をさせていただきました。それが4月。通常、企業のパーパスづくりは全社で意見を出して1年ぐらいかけて作るのですが、6月24日に発表したいということでしたので、その後は各団体の代表者と個別に何度かお話をし、ご意見を聞いて素案をまとめました。

——よく短期間でまとめましたね。

西 なぜ普通は1年ぐらいかかるのかというと、腹落ちが重要だからで、分の思いを言い切ったかだけでなく1時間で作れませんが入らない。私は、これがなかったんで、時間がないな、かって話を聞かない、なしでずっと関わっています。

——そして6月24日に発表しました。その後の反響はどう

続きはデジタルブックで
ご覧いただけます。

詳細はこちら